

大雨による災害

近年の日本列島では、台風や豪雨の影響により各地で大きな被害を受けています。台風や豪雨は、ある程度の時期や規模を予測できるため、気象庁等から発表される防災情報を正しく理解するとともに、事前の対策が重要となります。

◆ 防災情報

① 大雨・洪水警報

大雨や強風などによって、重大な災害が起こるおそれのあるときは、気象庁から「警報」が発表されますので、十分な警戒が必要となります。また、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測したときは「記録的短時間大雨情報」が発表されます。

② 大雨特別警報

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想されるとき又は、数十年に一度の強さの台風や同程度の温帯低気圧により、大雨になると予想されるときに発表されます。

③ 土砂災害警戒情報

大雨警報等が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度が更に高まったときに静岡県と静岡地方気象台が共同で発表する情報です。

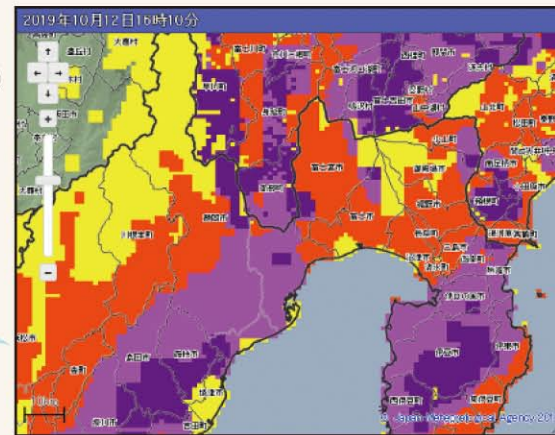
④ 大雨警報（土砂災害）の危険度分布

<https://www.jma.go.jp/doshamesh/index.html>

土砂災害警戒情報を補足する情報であり、1 km四方の領域（メッシュ）ごとに土砂災害の危険度を5段階に判定した結果を表示しています。

大雨警報（土砂災害）の危険度分布の見方

- ：極めて危険
- ：非常に危険【警戒レベル4相当】
- ：警戒【警戒レベル3相当】
- ：注意【警戒レベル2相当】
- ：今後の情報等に留意



④土砂災害警戒判定メッシュ情報の例

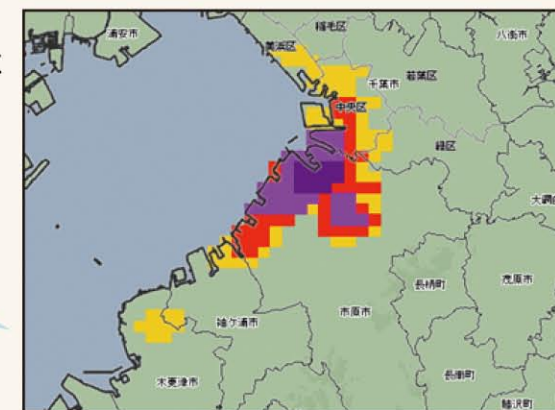
⑤大雨警報（浸水害）の危険度分布

<https://www.jma.go.jp/suigaimesh/inund.html>

大雨警報（浸水害）を補足する情報であり、浸水害の危険度を5段階に判定した結果を示しています。

大雨警報（浸水害）の危険度分布の見方

- ：極めて危険（すでに警戒基準を大幅に超過）
- ：非常に危険（警戒基準を大幅に超過する可能性）
- ：警戒（警戒級）
- ：注意（注意報級）
- ：今後の情報等に留意



⑤大雨警報（浸水害）の危険度分布の例

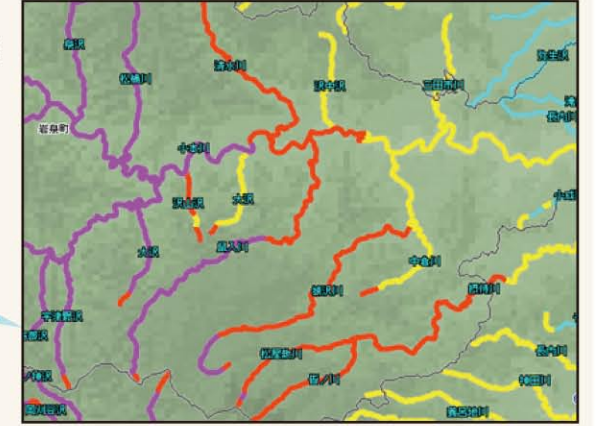
⑥洪水警報の危険度分布

<https://www.jma.go.jp/suigaimesh/flood.html>

洪水警報の危険度分布は、洪水警報を補足する情報であり、洪水の危険度を河川ごとに5段階で判定した結果を示しています。

洪水警報の危険度分布の見方

- ：極めて危険
- ：非常に危険【警戒レベル4相当】
- ：警戒【警戒レベル3相当】
- ：注意【警戒レベル2相当】
- ：今後の情報等に留意



⑥洪水警報の危険度分布の例

※指定河川（富士川）の避難基準等については、下記「避難情報の発令基準」及び富士川洪水ハザードマップ（P15～16P）を参考にしてください。

◆ 避難情報発令基準について

避難情報等 警戒レベル	発令基準		市民に求める行動
	洪水災害	土砂災害	
緊急安全確保 警戒レベル5	・市内の河川が氾濫したとき。	・市内で土砂災害による家屋被害が発生したとき。	・既に災害が発生しているので、命を守るための最善の行動をしてください。
避難指示 警戒レベル4	・富士川（南部観測所）の水位が氾濫危険水位（4.9m）に達したとき。	・原則、土砂災害警戒情報が発表されたとき。	・通常の避難行動ができる方は、避難所等へ避難をしてください。 ・速やかに避難を完了してください。避難をする余裕がない場合は、命を守る最低限の行動をとってください。
高齢者等避難 警戒レベル3	・富士川（南部観測所）の水位が避難判断水位（4.2m）に達したとき。	・台風の直撃が予想され、避難指示以上の発令が想定される場合	・高齢者等避難に時間のかかる方は避難をしてください。 ・その他の者は家族等との連絡、非常持出品の用意等、避難準備をしてください。
警戒レベル2	・気象発表の注意報相当		・避難が必要となる可能性があるため、避難場所や避難経路、避難のタイミングを再確認しておきましょう。
警戒レベル1	・気象発表の早期注意情報相当		・防災気象情報等の最新情報に注意するなど、災害への心構えを高めましょう。